

第5章 施設分類別の現状と課題

7. 医療施設

7. 医療施設

【病院・診療所】

● 市民病院

(1) 概 要

長野市民病院は、市北部地域における中核病院として、平成7年6月に開院し、地域の医療機関等との機能分担や円滑な連携に配慮し、急性期疾患を対象とした良質で安全な医療を継続的に提供することにより、市民の健康増進に寄与する役割を担っています。

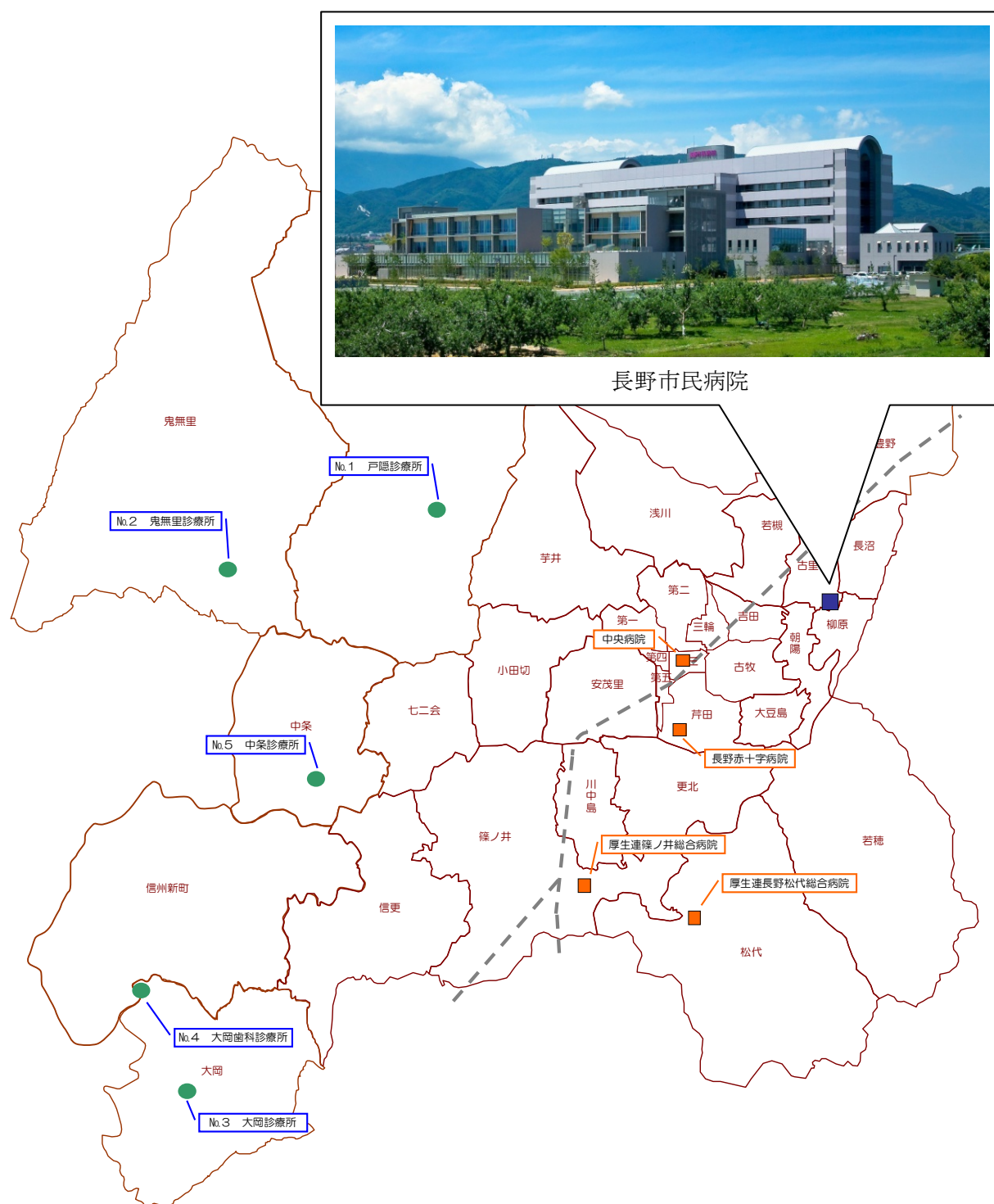
重点医療である3大生活習慣病(がん、心疾患、脳血管疾患)を中心とする急性期高度医療については、がん診療の実績により、平成19年1月に「地域がん診療連携拠点病院」に指定されています。もう一つの重点医療である救急医療については、24時間365日救急車を受け入れる体制を整えるとともに、平成20年度からは長野市医師会の協力のもと、「長野市民病院・医師会 急病センター」を開設し、初期救急も担っています。

さらに、平成24年度は、がん診療や急性期医療の充実のためのラルス棟・手術室の増設などを行い、現在、標榜科目30診療科・病床数400床を備えて運営しています。

長野市民病院の概要

施設名称	所在地区	単複	運営	建築年	建物延床面積(m ²)	階層	主たる構造	利用者数(人)
長野市民病院	古里	単独	指定	1995年2月	36,758	6	RC造	360,355
【施設の内訳】								
《主要な棟》			《付帯施設》					
			建物延床面積(m ²)			建物延床面積(m ²)		
・本棟(増築含む)			22,729			・医師住宅		
・CT・MR棟			1,321			・厚生棟		
・エネルギー棟			406			・体育館		
・中央棟			2,622			・看護師宿舎・託児所棟		
・南病棟			6,424			1,181		
・ラルス棟			489					

病院、診療所の配置状況



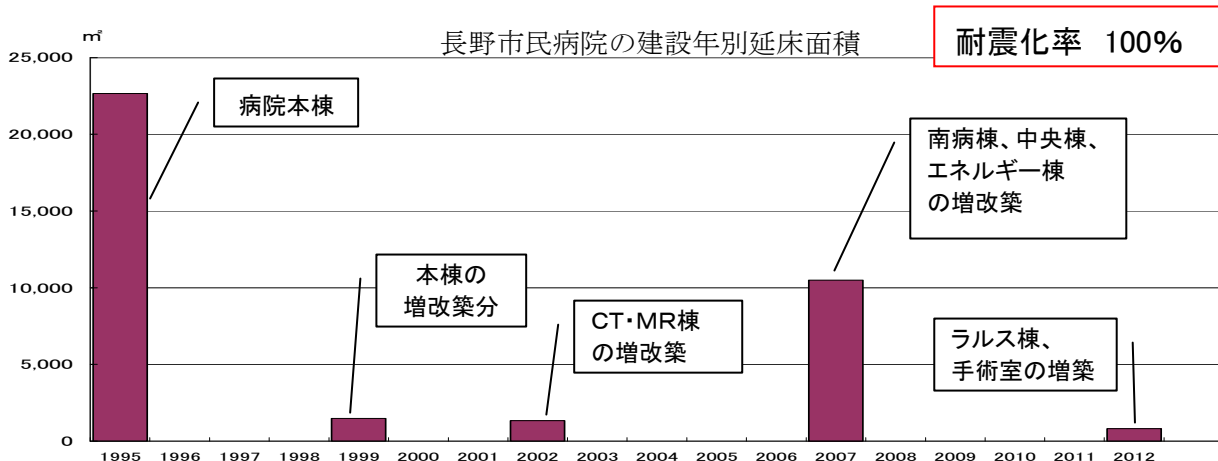
第5章 施設分類別の現状と課題

7. 医療施設

(2) 建物の状況

長野市民病院は、平成7年6月に新設病院として開院し、その後、数回の増改築を経て、現在、延床面積 36,758 m²あり、市全体の公共施設の中でエムウェーブ(長野オリンピック記念アリーナ)に次ぐ2番目に大きな施設となっています。

建物は、築 18 年が経過しているため、今後、計画的な施設の修繕・改修を進めていく必要があります。

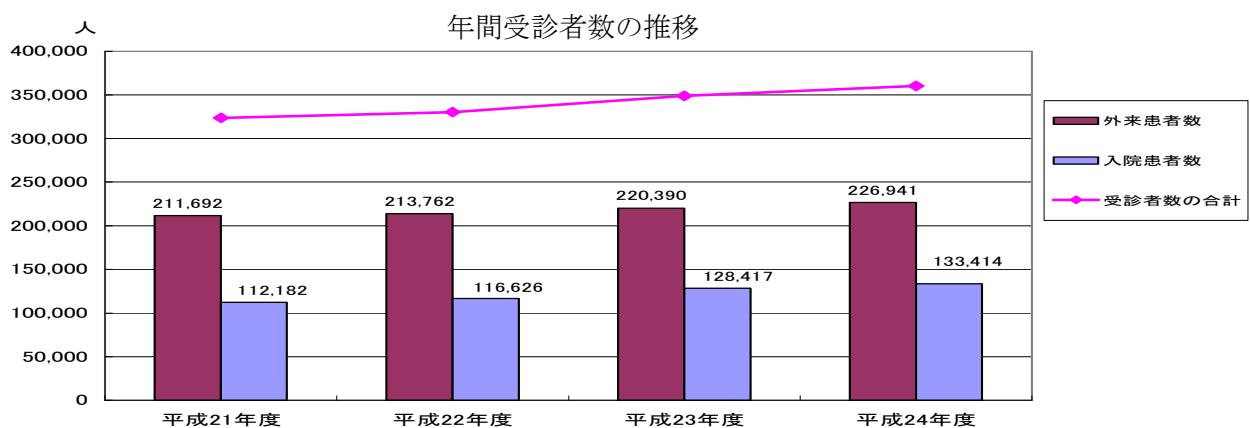


(3) 施設の利用状況

長野市民病院の平成 24 年度の年間延べ受診者数は約 36 万人であり、そのうち、外来患者数は約 23 万人、入院患者数は約 13 万人となっています。

外来関係では紹介と再診予約制の推進により、紹介患者の利便性が向上しています。また、時間外救急外来患者数も年々約5%ずつ増えています。一方、入院関係では 400 床フル稼働をほぼ実現した中で、紹介や救急からの新入院患者の確保及び入退院センターによる効率的な病床運用に努めた結果、入院患者が増加しており、病床利用率が向上しています。

施設名称	年間受診者延数(人)			
	21年度	22年度	23年度	24年度
長野市民病院	323,874	330,388	348,807	360,355
(うち、外来患者数)	(211,692)	(213,762)	(220,390)	(226,941)
(うち、入院患者数)	(112,182)	(116,626)	(128,417)	(133,414)



(4) コストの状況

長野市民病院は、公設民営方式で運営しており、開設者である長野市が施設等の整備を行い、病院現場の運営は、指定管理者である公益財団法人 長野市保健医療公社が行っています。また、会計は、地方公営企業法が適用されることから、企業会計方式で行っており、原則、運営により得た料金収入等で運営費用や施設整備費を賄う独立採算制となっています。

そのため、施設の維持管理費、運営費及び減価償却費等のコスト計算は、他の公共施設と同様の計算方法で算出すると下表の金額になりますが、実際の病院事業会計決算額等とは異なります。

維持・運営費 (千円)	減価償却費 (千円)	トータルコスト (千円)
7,544,306	416,336	7,960,642

企業会計方式による通常の病院運営に係る費用（人件費、医薬材料費、光熱水費等）は、年間約 100 億円（医療機器の減価償却費含む）ですが、これらは基本的には診療に伴う診療報酬及び受診者の一部負担金等で賄っています。

また、市民病院は、公立病院の役割として、救急や高度医療など一般病院では不採算となる部門も担う必要があり、この不採算部門の経費については、独立採算の例外として地方自治体が負担するという企業会計のルールに基づき、市が繰入金として負担しています。なお、繰入金の一部は、国からの地方交付税で措置されています。

(5) まとめ

長野市民病院は、公立病院として、現在、標榜科目 30 診療科・病床数 400 床を備え、建物や医療機器等の施設整備は長野市が行い、病院現場の管理運営は、公益財団法人長野市保健医療公社が指定管理者として行っています。

年間延べ受診者数は約 36 万人であり、そのうち、外来患者数は約 23 万人、入院患者数は約 13 万人となっています。

病院の会計は、独立採算による企業会計方式で行っており、運営及び施設整備に係る費用は、基本的には診療に伴う診療報酬及び受診者の一部負担金等で賄っています。公立病院として担うべき救急や高度医療などの不採算部分及び施設整備費の一部については、市からの繰入金という形で負担しています。繰入金は実質的には市民の負担となることから、経営努力等により、できるだけ縮減することが求められています。

第5章 施設分類別の現状と課題

7. 医療施設

● 診療所

(1) 概 要

本市では、無医地区等を解消し、国民健康保険被保険者等の受診の機会均等及び公衆衛生の向上等を目的として、直営診療所を開設しています。

本書では、医師、歯科医師を常勤（市職員）で配置している戸隠、鬼無里、大岡、中条及び大岡歯科の5つの診療所を対象としており、これらの施設は、合併により旧町村から引き継いだ施設です。

診療所一覧

	施設名称	所在地区	単複	運営	建築年	建物延床面積(㎡)	階層	主たる構造	利用者数(人)
1	戸隠診療所	戸隠	複合	直営	1994年4月	663	4.B1	SRC造	9,801
2	鬼無里診療所	鬼無里	複合	直営	2000年3月	208	2.B1	RC造	5,563
3	大岡診療所	大岡	単独	直営	1997年2月	357	1	S造	5,530
4	大岡歯科診療所	大岡	複合	直営	1988年4月	174	2	W造	1,591
5	中条診療所	中条	複合	直営	1985年12月	471	1	RC造	4,332
	合計					1,873			26,817



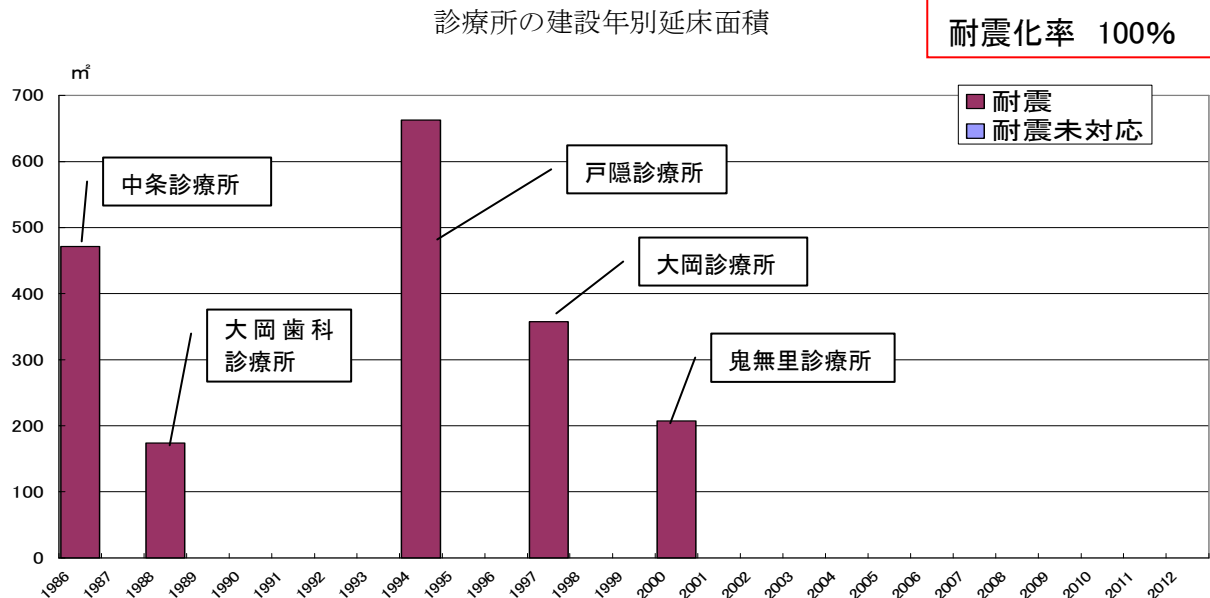
大岡診療所



中条診療所

(2) 建物の状況

建築整備年別の延床面積のグラフをみると、1986 年(昭和 61 年)に建設された中条診療所が最も古く、築 27 年が経過しており、今後、建物の老朽化対策が課題となります。

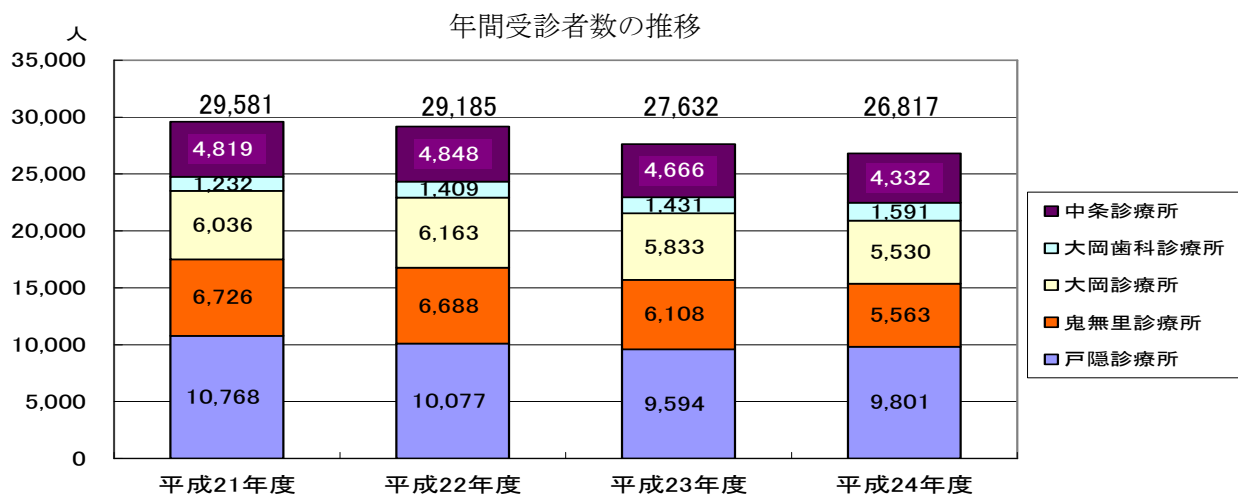


※戸隠、鬼無里診療所は、支所内に設置されています。

(3) 施設の利用状況

診療所5施設の平成 24 年度の年間受診者数は、約 2.7 万人となっています。

近年の受診者数をみると、地域人口の減少や他の医療機関への受診機会が増えたことにより減少傾向となっています。



第5章 施設分類別の現状と課題

7. 医療施設

(4) コストの状況

① 概 要

平成 24 年度の診療所5施設の光熱水費や建物管理委託料などの施設維持管理費は、約 0.2 億円で、事業運営費は、約 2.9 億円となっています。

また、建物の減価償却費を含めたトータルコストは、約 3.1 億円となっています。

診療所のコスト

(金額単位：千円)

		施設分類名	診療所
I 現金収支を伴うもの		施設数	5
【コストの部】		延床面積(m ²)	1,873
施設維持管理費	修繕費		411
	工事請負費		271
	光熱水費		5,767
	建物管理委託料		482
	人件費(概算)		10,950
	その他の経費		151
	施設維持管理費 計		18,032
事業運営費	人件費(概算)		113,150
	業務委託料		13,377
	その他物件費等		163,031
	事業運営費 計		289,558
現金収支を伴うコスト計 ①			307,590
【収益の部】			
利用料金等	市		312,382
	指定管理者		0
収 益 計 ②			312,382
II 現金収支を伴わないもの			
【コストの部】			
減価償却費 ③			7,109
トータルコスト((①+③) ④			314,699
収支差額((④－②)			2,317

② コストと受診者の状況

受診者1人当たりのコストの平均は、約 9,000 円から約 15,000 円となっています。

施設名	収入金額（円）	トータルコスト（円）	受診者数（人）	1人当たりのコスト（円）
戸隠診療所	101,936,961	91,040,256	9,801	9,289
鬼無里診療所	60,132,623	68,808,972	5,563	12,369
大岡診療所	74,556,273	73,704,518	5,530	13,328
大岡歯科診療所	9,307,973	16,618,584	1,591	10,445
中条診療所	66,448,301	64,526,059	4,332	14,895

(5) まとめ

診療所は、医療の確保や地域住民の健康増進等を目的とした重要な施設として位置づけられ、鬼無里、大岡、中条地区においては、唯一の医療機関となっています。

その一方で、受診者数は、地区人口の減少や他の医療機関への受診機会が増えたことにより、減少傾向となっています。

建物については、中条診療所が最も古く、今後、建物の老朽化対策が課題となります。